

第2回 川崎市長杯ボッチャ大会 開催要項

1 目的

本市では、「誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくり」を目指し、共生社会の実現に向け、「かわさきパラムーブメント」を推進している。かわさきパラムーブメントにおけるレガシーとして、「障害などの有無にかかわらず誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち」を掲げている。

パラスポーツを理解・体験する第一歩として最適なスポーツの一つである「ボッチャ」を通じて、障害者がスポーツをする機会を創出するとともに、スポーツを楽しみながら障害に対する理解を高めることのできる機会の提供を図るため開催する。

2 主催

川崎市

3 主管

川崎ボッチャクラブ

3 後援

一般社団法人 日本ボッチャ協会

4 協力

神奈川ボッチャ協会

川崎市障がい者スポーツ指導者協議会

5 開催日時

令和6年1月20日（土）9時30分から16時まで

6 会場

カルッツ川崎 大体育室

7 募集チーム数

40チーム（応募多数の場合は抽選による）

※選手の中に障害者がいるチームは一部優先する。

8 参加条件

（1）1チーム3名とする。

（2）3名すべてが本市在住・在勤・在学者とする。

9 試合形式

- (1) 試合は1チーム、3名の選手で行う。
- (2) 予選及び決勝トーナメントは2エンドで行う。ただし、決勝戦および3位決定戦については、4エンドで行う。
- (3) 予選リーグを行い、各リーグ1位・2位による決勝トーナメントを実施する。
同点の場合は、各チームの代表者による1球のタイブレイクで勝敗を決める。
ただし、タイムブレイクは得点1としてカウントしない。また、予選リーグの順位は、勝敗が同じ場合、①勝ち数、②直接対決の勝敗、③得失点差、④総得点、⑤勝ちエンド数の順で順位を決定します。①～④で決まらない場合はタイブレイクを実施し決定する。

10 競技規則

- (1) 本大会は日本ボッチャ協会競技規則及びボッチャ東京カップ競技規則に準じて実施する。
ただし、スローイングボックスについて3m×2.5mの2ボックスとする。
- (2) 選手登録をした3人に満たない場合は、試合不成立とし、交流戦扱いとする。
その場合の試合結果は、リーグの結果には反映されない。
- (3) 投球練習は、各試合開始前の1分間とする。(決勝トーナメントは投球練習を設けない。)
- (4) 持ち時間は3分とする。ただし障害者のいるチームは4分とする。
- (5) その他、疑義が生じた場合は審判長の判断とする。

11 表彰

優勝、準優勝、第3位とする。

12 申込方法・期間

申込書を持参、郵送、FAXまた応募フォームからの申し込みとする。

申込期間：令和5年11月15日(水)から12月13日(水)17時まで

13 参加費

無料

14 留意事項

- (1) ランプ使用者はアシスタントを用意すること。
 - (2) 介助者(ボールを渡すなど)が必要な場合は、用意すること。
- ※(1)、(2)について同じチーム内の選手と兼ねることができる。

選手とは別に用意する場合は、競技中のアドバイスなどは一切しないこと。

- (3) 審判への質問等はチーム代表者のみとする。
- (4) ウォーミングアップは設けない。但し、選手待機所等でウォーミングアップを実施する際は周囲に配慮して行うことは差し支えないものとする。
- (5) 体調がすぐれない場合は、必ず役員に申し出ること。
- (6) 主催者が、競技結果や大会で撮影する写真や動画等は、ホームページやSNS、チラシへの掲載などの広報活動等に使用する場合がある。また、大会当日、報道機関が取材を行い、写真や映像がテレビ・新聞等で報道されることがあるので承知の上参加すること。個人でSNS等に写真や動画を使用する際は、プライバシー保護の観点から周囲に配慮すること。
- (7) 本大会の関する個人情報は、プログラム記載、結果記録等大会運営に係る範囲でのみ使用する。